

## 第一回 Deep time walk in 壱岐島報告書

鎮守の森コミュニティ研究所研究員 中村安里

**企画名** 地球 46 億年の旅路 Deep time Walk in 壱岐島

**日時** 2023 年 2 月 24 日

**場所** 壱岐島原の辻遺跡

**主催者** 鎮守の森コミュニティ研究所研究員 中村安里

### 目的

1. 参加者それぞれが地球（ガイア）とのつながりを感じることができるようになるため
2. 壱岐島との関わり方に関して新たな視点を持つため
3. 島内と島外の人たちの交友や交流を深めるため

### 内容

地球 46 億年の旅路を実際に歩きながら身体で体感する Deep Time Walk というワークショップを開催しました。通常は 46 億年の旅路を 4.6km で歩いていくのですが、今回は時間が限られていたため、4 分の 1 に短縮して約 1.25km で実施しました。その際 1 歩 50cm で 200 万年になります。

月の形成、水と海の形成、原始生命の誕生、酸素を利用した光合成の誕生、スノーボールアース、真核細胞の誕生、カンブリア紀の大爆発、石炭紀、生命の大往生（大量絶滅）、恐竜時代（ジェラシックパーク）、恐竜の大絶滅、現代・人新世という順で、各セクションで地球の歴史を共有するとともに、いくつかの質問を参加者に考えてもらいました。

1. あなたの生活において月はどのような影響を与えていますか？（生命における月のサイクルの重要性）
2. 私たちと水との関係性はなんですか？
3. 生きているものとは？生命と非生命とは？

などといった質問を投げかけることによって、参加者が主体的に地球の歴史とのつながりについて考えられる機会となりました。

また、原始生命の誕生の際には、皆さんと炭酸水でお祝いの乾杯をし、真核細胞が誕生した際には、円になって細胞を作り、ミトコンドリア や葉緑体が細胞の中に入っていき様子を実際に身体を通じて体感していきました。

最後の現代のフェーズでは定規を使うことによって年代を表していきましたが、私たちが生きている産業革命時代はたったの 0.05mm（1 ミリの 20 分の 1）であることをお話ししながら、本当にわずかな時間の中で人類が地球に大きな影響を与えてきたことを共有しました。

### 効果

島内島外からの参加者にそれぞれアンケートを取りました。その集計結果を下記にまとめます。点数は総計の平均値を書いています。

質問内容	島内 (3名)	島外(6名)
1.今日のディープタイムウォークの内容は理解できましたか？1 理解できない 7 とてもよく理解できた	5	6.3
2.ディープタイムウォークは楽しかったですか？1 楽しくなかった 7 とても楽しかった	7	6.5
3.壱岐に住んでいない方(住んでいる方) と話すことで普段とは違う発見はありましたか？1 なかった 7 とてもあった	6.7	6.7
4.ディープタイムウォークを通じて地球と自分との距離や関わり方について捉え方が変わった経験はありましたか？1 全くなかった 7 とてもあった	5.3	6.8
5.上記の回答の理由について教えてください。そしてそれらが、どのように自分に影響を与えたのかを教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分がいることは、とてもすごいことだと思いました。地球の始まりとか考えたこともなかったので、ちょっと理解するのが難しかったけど、自然に感謝し大切にしたいと思いました。</li> <li>・今自分が生きていることは奇跡なんだと思っはいたけど、月とか地球とかのあゆみを感じる事ができて、より深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月との関係、隕石との関係がなければ、地球が産まれていないこと。大きな宇宙の中で自分が生かされていることを意識できた。</li> <li>・今まではそのような長い歴史の視点で見ることがなかった。今、自分が生きていられるのは奇跡の連続なんだと思えた。</li> <li>・月の満ち欠けには興味がありましたが、月が地球に与えた影響がこれほど大き</li> </ul>

	<p>・地球の誕生から今ある自分自身までの大きなスケールの中、色々なことを考えさせられました。今まで思いもしなかった事を学ばせていただきいい経験となりました。</p>	<p>なものだと知りませんでした。月のリズムと体のバイオリズムや感情の動きに関係があることを深く観察したくなりました。</p> <p>・地球の誕生を考えたことは今までの人生でなく私が存在しているのは46億年前にさかのぼるという事に感動したと同時にあらゆる生物に感謝。</p> <p>・自分が自然の一部だと実感できた。</p> <p>・長い期間の積み重ねの奇跡が今の私を作っている実感がしました。</p>
<p>6.ディープタイムウォークを通じて壱岐島や地域との距離や関わり方について変化したことはありましたか？</p> <p>1 全くなかった 7 とてもあった</p>	<p>5</p>	<p>6.8</p>
<p>7.上記の回答の理由について教えてください。そして、それらが、どのように自分に影響を与えたのか教えてください。</p>	<p>・壱岐の歴史を知りたいと思いました。</p> <p>・今ここに生きていて、出会う人々も奇跡なんだと思うと愛しくなった。</p> <p>・島民ながらも知らないことが沢山でした。地域との関わりが苦手でしたが、少し協力や参加したいと思えました。今回この体験を人生の中で活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>	<p>・島外の人だから気づくよさ。島内の人だから気づくよさ。意見交換がよかった。</p> <p>・歩きながら周りの風景や壱岐の方たちとふれあえて優しく包み込まれたような感じがした。解放感を味わえた。</p> <p>・また訪れたい良い場所だと思っていましたが、今日のディープタイムウォークを体験して、もっと歴史や出来事を調べたいと思いま</p>

		<p>した。科学も全く興味がなかったのですが、図書館にいきたくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに住んでいても人間は環境に対応して生きてゆく能力が備わっているのかと思う。</li> <li>・コミュニケーションの大切さを感じる。</li> <li>・今なおその自然と共生する風習と全く反対に反する習慣と二極化している気もした。</li> </ul>
8.今回のようなワークにまた参加したいと思いませんか？1 二度と参加したくない 7 必ず参加したい	7	6.5

・島内の方々は質問(2.8)に対してどの参加者も7であり、参加した満足感は島外の人に比べて高く、島内の人は島外の人に比べてワークショップを楽しんでいることがわかりました。

・理解度や自分との関わりについての質問(1.4.6)は島内の人に比べて島外の人の方が点数は高く、ワークショップの内容を自分ごととして理解し吸収することに関しては島内の人よりも島外の人の方が、効果が高いことがわかりました。

・自分が生きているのは奇跡だという意見や、地球や宇宙に生かされているという意見が多く見られました。

## 所感

今回の企画を通じて、参加してくださった方が地球と自分との関係を見つめ直すきっかけとなりました。また、今回の企画を通じて壱岐島の歴史をもっと調べたいと島内の方からのご意見も出ており、壱岐島との関わりに関しても新たな視点やさらなる好奇心を持つきっかけとなりました。

壱岐島は弥生時代の遺跡が残されていたり、6600 万年前からの地層を基盤として島が成り立っていたり、ディープタイムウォークで自分ごととして捉えた地球 46 億年の旅路に接続する形で壱岐の地質的な歴史や弥生時代の文化について参加者の方々とお話しできたことは私にとっても学びとなりました。

地球に生かされているという感覚を持つ事によって、健康の有無にかかわらず、出身地にかかわらず、もう一度地球を信頼して委ねていくというプロセスの中で自己充足感が高まる企画になったのではないかと思います。ありがとうございました。

#### **参考資料**

- ・ シューマツハカレッジ Deep Time Walk 資料  
(<https://campus.dartington.org/schumacher-college/>)
- ・ 『Newton 6月号増刊 地球と生命,宇宙の全歴史』, ニュートンプレス, 2017年